

50歳以上のあなたへ

NEW

脳ドック  
オプション検査

あなたの脳をAIで可視化します

## 認知症リスク検査

認知症リスク検査は、脳ドックを受けられる方なら、どなたでも受けることができます。

認知症リスク検査では、脳ドックで撮像されたあなたの脳画像を、人工知能（AI）が解析することによって、アルツハイマー型認知症のリスクを知ることができます。

脳ドックでの撮像済のMRI画像を使用する検査なので、追加の身体的なご負担はありません。



### 脳ドックのご予約について(予約制)

#### ● 予約時間

9:00、12:00、15:00（水・土は午前のみ）

※希望日の一週間前に予約の連絡をお願い致します。一週間前に予約が出来ない場合、予約枠が空いていれば前日でも予約を取ることができます。

広島県広島市佐伯区五日市駅前1丁目5-18-301  
(グラシアビル3F/院長：長尾 光史)  
TEL 082-943-5882

 **ながお脳神経外科クリニック**

認知症の中でもっとも多いアルツハイマー型認知症は、脳の神経細胞が徐々に減っていく進行性の病気です。

物忘れなどの症状が現われる20年以上も前から脳の変化が始まっていることがわかっており、いったん認知症まで進んでしまうと、現代の医学でもなかなか回復が難しいのが現状です。

一方で、生活習慣の改善など、早期から対策をすることで、進行を遅らせたり予防が可能であるとされています。

認知症リスク検査は、あなたの脳をAIで可視化し、3年後のリスクを知ることが出来ます。

自分の脳の状態を知って、今日から生活習慣を改善しましょう。

このような方におススメします



これからも頭の健康を  
イキイキと保ちたい方



頭の回転が遅くなったような  
気がする方

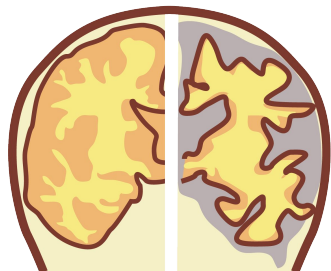


最近もの忘れが  
ひどくなったような気がする方

# 認知症と脳の萎縮の関係

正常な脳

萎縮した脳



人間は、誰しも年をとるにつれて、徐々にではありますが、脳が萎縮します。

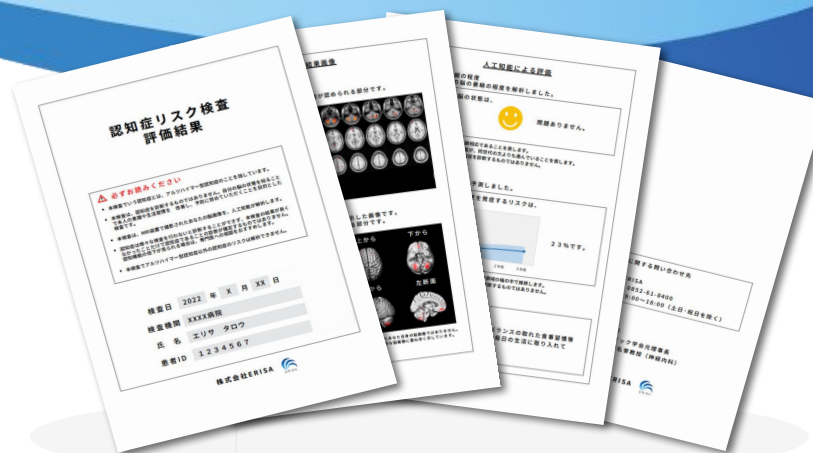
一般的には、30歳代くらいから少しずつ萎縮し、65歳くらいになると、脳のMRI画像から「萎縮した状態」が分かる場合もあります。脳が萎縮する早さや程度は個人差によるところが大きく、また脳の部位によっても差がみられます。

MRIによって、脳の萎縮の程度や範囲、認知機能の症状を検査することで、認知症かどうかを、ある程度、判断することができます。このように、認知症と脳の萎縮は、密接な関係にあるといえます。

## 認知症リスク検査でわかること

脳画像から、脳の健康状態をAIがチェックし、現在の脳の萎縮の状態を可視化し、3年後の認知症の発症リスクを予測します。さらに、認知機能低下を予防するためのヒントとして、生活習慣の改善方法を解説したレポートをお渡しします。

本検査でいう認知症とは、アルツハイマー型認知症をさします。本検査は、アルツハイマー型認知症であることを診断するものではありません。本検査は、本人の予防意識、生活習慣を改善し、認知機能低下の予防に努めていただくことを目的としています。本検査は、島根大学医学部脳神経内科と滋賀医科大学神経難病研究センターで開発された技術を応用しています。



認知症リスク検査は、株式会社ERISAが提供する検査です。



(開発・提供)  
株式会社ERISA  
島根県松江市北陵町46-6